

東日本大震災現地NPO応援基金[特定助成]
東日本大震災復興支援 JT NPO 応援プロジェクト

第9回選考結果のご報告

2015年9月

認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター

目次

1.第9回助成対象事業一覧	1
2.第9回助成選考総評	2
3.第9回助成概要と選考理由	4
4.第9回助成応募概況	7
5.第1回から第9回までの助成対象事業一覧 ..	11

1.第9回助成対象事業一覧

助成件数:5件 助成総額:2,057万円

助成番号	事業名	団体名	所在地	助成額
9-1	石巻市の地元住民による小中学校サポート活動を通じたコミュニティ形成事業	一般社団法人 プロジェクト結コンソーシアム	宮城県 石巻市	490 万円
9-2	雄勝花物語 第5章「若者・お年寄り・女性の参加による故郷復興プロジェクト」	一般社団法人 雄勝花物語	宮城県 石巻市	428 万円
9(継)-1	街角 Café 桜/フリースペースららポート	特定非営利活動法人 夢みの里	宮城県 石巻市	340 万円
9(継)-2	被災による子どもの貧困救済及び貧困連鎖予防事業	特定非営利活動法人 キッズドア	東京都 中央区	399 万円
9(継)-3	ふくしまの農業を現地で知り交流する「スタディファーム」	特定非営利活動法人 がんばろう福島、農業者等の会	福島県 二本松市	400 万円
<p>*第9回助成は2015年7月1日から7月15日までの応募について8月、9月に選考し助成が決定したもの。 *助成期間は2015年10月1日から2016年9月30日までの1年間。 *夢み里、キッズドア、がんばろう福島、農業者等の会は第5回助成対象団体で何れも継続して助成することとなった。</p>				

2.第9回助成選考総評

選考委員長 大橋 正明

[JT NPO 応援プロジェクト概要]

「東日本大震災復興支援 JT NPO 応援プロジェクト」は、認定 NPO 法人日本 NPO センターが 2011 年 3 月から行っている「東日本大震災現地 NPO 応援基金」に対して、日本たばこ 産業株式会社から寄付を受け、「特定助成」として 2013 年 8 月から実施している助成プログラムである。2 年間で 8 回助成を行い、47 団体に 1 億 9,000 万円を超える助成を行ってきた（2015 年 9 月末時点）

[応募状況と選考プロセス]

第 9 回助成(助成期間 2015 年 10 月 1 日～2016 年 9 月 30 日)は、2015 年 6 月より告知を開始、応募受付期間は 2015 年 7 月 1 日～7 月 15 日であった。

新規助成の応募件数は、40 団体であった。応募事業の活動地域と団体の所在地は、いずれも宮城県が最も多く、次いで福島県、岩手県の順番であった。本助成プログラムに過去 1 年間で応募したことがある、つまり再チャレンジしたのは 19 団体で、全体の 5 割近くを占めた。また、前回同様、東日本大震災後に被災地で結成された団体は約 6 割を占めた。

継続助成は、応募資格の対象となる 9 団体のうち 7 団体から応募があった。この内、継続 2 年目への応募が 5 団体、継続 3 年目への応募が 2 団体であった。

新規助成の選考は、過去の選考と同様にまず事務局による予備審査で応募要件等に基づいて検討を行い、本審査の対象として 15 件を選出した。この 15 件について全ての選考委員が選考基準に基づいて事前に書面評価を行ったうえで、全員参加の選考委員会の場で活発に意見を交わし、助成にふさわしいと考えられる 4 団体を選出した。この選考委員会の終了後、事務局スタッフが 4 団体を訪問し、活動状況や選考委員会で挙げられた点について詳細なヒアリングを行った。この結果を選考委員長に報告して、最終的な決裁を行い、助成事業 2 件を決定した。助成額合計は 918 万円であった。

継続助成の選考は、過去 1 年間の事業の成果と課題に関する報告内容と今回の応募内容について、新規助成と同様な審査を行い、選考委員会で継続助成にふさわしいと考えられる団体を 3 団体選出した。その後新規助成と同様に事務局スタッフによるヒアリングを実施、選考委員長の決裁を経て、助成事業 3 件を決定した。助成額合計は 1,139 万円であった。

新規助成と継続助成をあわせて、助成件数は 5 件で助成金額は 2,057 万円となった。

[選考における議論のポイント]

新規助成では、応募要項に記載している 5 つ選考基準*1 をベースに審議を行った。また、継続助成では、以下の選考基準に加えて、前年度の事業の目標達成状況なども踏まえて審議を実施している。

*1《JT NPO 応援プロジェクト選考基準》

地域性:活動する地域のニーズを把握、事業の内容がそれらに基づいて組み立てられているか

参加性:地域の人々や外部からのボランティア等の参加が期待できるか

連携性:地域の他の団体、企業、自治体等と協力して事業が実施されるか

実現性:目標設定、目標に対する計画、予算等が適切で実現性が高いか

継続性:参加する人々の主体性を育て、活動する地域への長期的な貢献を行なえるか

なお継続助成については、上記の選考基準に加えて、1年目事業の活動実績や目標達成状況なども評価した。上記の選考基準に加えて新規助成、継続助成の審議においてポイントであったのは次の2点である。

新規助成は、「事業の目標と実施内容の一致」がポイントであった。事業を通して目指す地域の在り方や対象者の姿が、実施内容によって実現できる可能性があると感じられる事業は概ね高く評価された。

継続助成は、「1年目・2年目の助成事業の実績に対する自己評価」がポイントであった。1年目・2年目の助成事業の実績について、「事業として立てた目標がどこまで達成できているか」、「そもそも目標設定に瑕疵はなかったか」、「事業の対象者の評価や声はどんなものか」などを明示し、これらに基づいて継続助成の実施計画を組み立て、事業の継続性や発展性に期待できる取り組みは概ね高く評価された。

本プロジェクトは今回で3年目を迎えた。プログラム開始当初から懸念されていた東日本大震災に対する民間団体からの助成金等の支援や国・自治体の支援の減少は、残念ながら確実に進んでいる。加えて、仮設住宅から公営住宅への移行など住民を取り巻く環境の変化や震災前からの地域課題の深刻化も、あちらこちらで見受けられる。これらを踏まえて震災当初から支援を続ける団体、新たな活動を立ち上げる団体、それぞれの団体が転換期を迎えていると感じる。この助成プログラムが、これからの東北のコミュニティ再生(あるいは再々生)という挑戦に取り組む団体の持続的な活動への足掛かりとなることを祈念している。

【選考委員】

委員長	大橋 正明	認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター 副代表理事
委員	栗田 暢之	特定非営利活動法人 レスキューストックヤード 代表理事
委員	後藤 麻理子	特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 理事・事務局長
委員	諏訪 徹	日本大学 文理学部 社会福祉学科 教授
委員	永田 亮子	日本たばこ産業株式会社 執行役員

3.第9 回助成概要と選考理由

助成番号	9-1
事業名	石巻市の地元住民による小中学校サポート活動を通したコミュニティ形成事業
団体名	一般社団法人 プロジェクト結コンソーシアム
主な活動地域	宮城県石巻市

【選考理由】

東日本大震災により地域コミュニティが分断され、仮設住宅での暮らしの長期化により学校教育への影響が生じている。プロジェクト結コンソーシアムは、石巻市内の56の小中学校の先生たちをサポートするため、地域内外のボランティアの協力を得ながら、通学路での見守り活動や図書整理、プールの清掃などの学校のサポート活動を実施してきた。

助成事業では、学校を地域コミュニティの活動の拠点とし、地域主体の活動に移行させるため、地域住民の参加とネットワーク形成に取り組む。復興への道のりがまだ遠い被災地において、学校を拠点にコミュニティの復興をめざす取り組みが県内、県外にも広がるよう期待したい。

助成番号	9-2
事業名	雄勝花物語 第5章「若者・お年寄り・女性の参加による故郷復興プロジェクト」
団体名	一般社団法人 雄勝花物語
主な活動地域	宮城県石巻市

【選考理由】

雄勝花物語は、東日本大震災による津波で壊滅的な被害に遭った石巻市雄勝町に「雄勝ローズファクトリーガーデン」を設立し、ここを拠点に地元の女性や若者らを中心に植栽活動や無料コンサート等の復興支援活動を行い、2012年から延べ50団体3,000人以上のボランティアを受け入れてきた。また、小学校から大学、企業の社員を対象とした防災と復興をテーマとした教育支援活動にも取り組んできた。

助成事業では、被災地での緑化支援活動と教育支援活動を継続し、これに加えてハーブ、ラベンダー、果樹の栽培と商品開発に取り組む。本事業を通じて、地域住民や他地域の市民との交流が広がり、より持続的な取り組みへと発展するよう期待したい。

助成番号	9(継)-1
事業名	街角 Café 桜／フリースペースららポート
団体名	特定非営利活動法人 夢みの里
主な活動地域	宮城県石巻市

【選考理由】

夢みの里は、障害の有無に関わらずあらゆる人が暮らしやすい環境づくりと子育て支援に取り組み、石巻市内で障害児の放課後ディサービス等を実施している。

1年目の助成事業では、東日本大震災の影響により失われた地域の活気を取り戻し、障害児を持つ母親の就労機会を創出するため、「街角 Café 桜」を開設した。

2年目の助成事業では、「街角 Café 桜」がより地元住民に必要とされる場所となるよう、人気の高い洋食メニューの充実やスタッフの特技を活かしたスイーツの開発、フリースペースを活用したパソコン教室やカラオケ教室の開催などに取り組む。

本事業が地元住民によって支えられ、障害児を持つ親たちが地域に居場所と役割を見つけ、地域が活性化されるよう期待したい。

助成番号	9(継)-2
事業名	被災による子どもの貧困救済及び貧困連鎖予防事業
団体名	特定非営利活動法人 キッズドア
主な活動地域	宮城県仙台市

【選考理由】

キッズドアは、子どもの貧困や教育格差を解決するため、生活困窮世帯等の子どもを対象に東京都内で学習支援活動を行っていたが、震災後は仙台市にも拠点を置き、宮城県や福島県の子どもたちへの学習支援活動も行ってきた。

1年目の助成事業では、経済的に厳しい家庭環境にある仙台市内の中高生延べ 1,200 人を対象に、学習支援活動や補食付き自習室の運営、キャリア教育や大学見学ツアーを実施すると共に、保護者を対象に教育資金準備セミナーや家計相談会を開催した。この結果、高校進学希望者 28 名全員が進学する等の成果をあげた。

2年目の助成事業では、従来の事業に加え、被災した家庭の子どもたちの学習支援活動に重点的に取り組む。これらの事業が持続できるよう、自治体との連携強化や公的資金の確保、スタッフの資質向上のための取り組みも期待したい。

助成番号	9(継)-3
事業名	ふくしまの農業を現地で知り交流する「スタディファーム」
団体名	特定非営利活動法人 がんばろう福島、農業者等の会
主な活動地域	福島県二本松市

【選考理由】

がんばろう福島、農業者等の会は福島県内の 50 の農家により組織され、震災直後から、放射能汚染に対する風評被害に立ち向かい、消費者の理解を得るための活動を続け、ネットショップを通じて安全な農作物を市場に送り出してきた。

1 年目の助成事業では、福島県の農業の実態を知ってもらうため、福島県二本松市内の農園などに 500 人以上のスタディツアー客を受け入れた。また、県外へ出向いて福島県の農業の現状を伝える出張スタディファームの参加者は 1,500 人を超えた。

2 年目の助成事業では、これまでの事業に加えて、海外への情報発信にも取り組む。本事業を通じて、生産者と消費者の顔の見える交流の場づくりが強化され、福島県の農業復興が実現するよう期待したい。

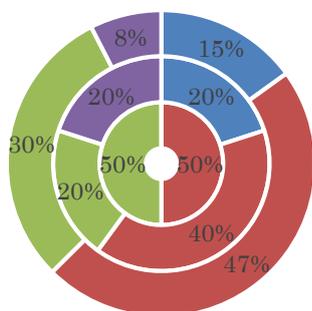
4. 第9回助成応募概況(応募期間:2015年7月1日-7月15日)

(表)

	新規助成	継続助成(2年目)	継続助成(3年目)
■ 応募件数	[合計] 40 件 [再応募] 19 件(47.5%)	[合計] 5 件 [再応募] 1 件(20%)	[合計] 2 件 [再応募] 0 件(0%)
■ 助成希望額	[合計] 1 億 7,636 万円 [平均] 441 万円 [最高] 500 万円 [最低] 301 万円	[合計] 1,975 万円 [平均] 395 万円 [最高] 400 万円 [最低] 387 万円	[合計] 598 万円 [平均] 299 万円 [最高] 299 万円 [最低] 299 万円
■ 活動地域 ※0内は割合	[岩手県] 6 件(15%) [宮城県] 19 件(47.5%) [福島県] 12 件(30%) [複数県] 3 件(7.5%)	[岩手県] 1 件(20%) [宮城県] 2 件(40%) [福島県] 1 件(20%) [複数県] 1 件(20%)	[岩手県] 0 件(0%) [宮城県] 1 件(50%) [福島県] 1 件(50%) [複数県] 0 件(0%)
■ 団体所在地 ※本部事務所 ※0内は割合	[岩手県] 4 件(10%) [宮城県] 17 件(42.5%) [福島県] 10 件(25%) [3県外] 9 件(22.5%)	[岩手県] 1 件(20%) [宮城県] 2 件(40%) [福島県] 1 件(20%) [3県外] 1 件(20%)	[岩手県] 0 件(0%) [宮城県] 0 件(0%) [福島県] 1 件(50%) [3県外] 1 件(50%)
■ 設立時期 ※0内は割合	[震災前] 14 件(35%) [震災後] 26 件(65%)	[震災前] 2 件(40%) [震災後] 3 件(60%)	[震災前] 1 件(50%) [震災後] 1 件(50%)
■ 法人格 ※0内は割合	[NPO] 28 件(70%) [一般社団] 7 件(17.5%) [その他] 2 件(5%) [法人格なし] 3 件(7.5%)	[NPO] 4 件(80%) [一般社団] 1 件(20%) [その他] 0 件(0%) [法人格なし] 0 件(0%)	[NPO] 2 件(100%) [一般社団] 0 件 [その他] 0 件 [法人格なし] 0 件

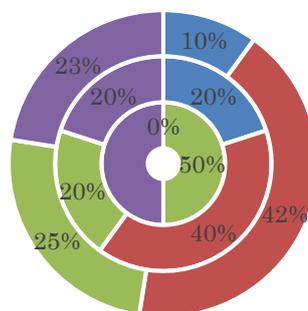
(グラフ) 一番外側の円＝新規助成／真ん中の円＝継続助成 2 年目／一番内側の円＝継続助成 3 年目

活動地域



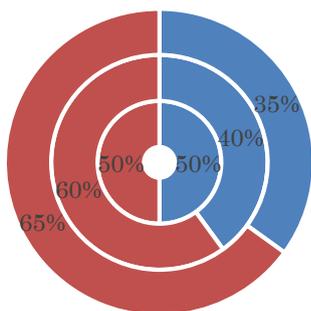
■ 岩手県 ■ 宮城県 ■ 福島県 ■ 複数県

団体所在地



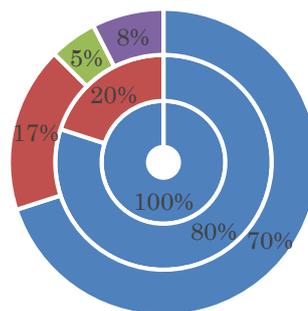
■ 岩手県 ■ 宮城県 ■ 福島県 ■ 3県外

設立時期



■ 震災前 ■ 震災後

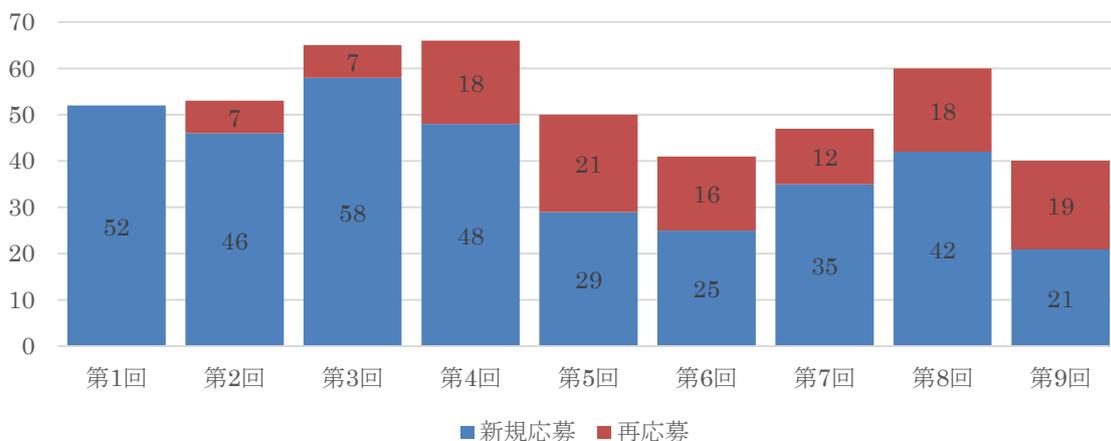
法人格



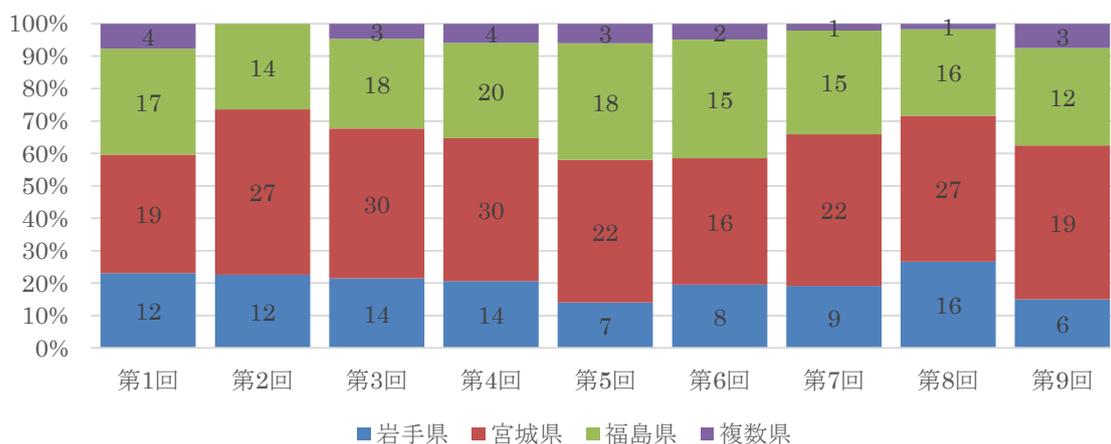
■ NPO ■ 一般社団 ■ その他 ■ 法人格なし

2. 過去助成回応募概況(第1回～第9回) ※新規助成のみ

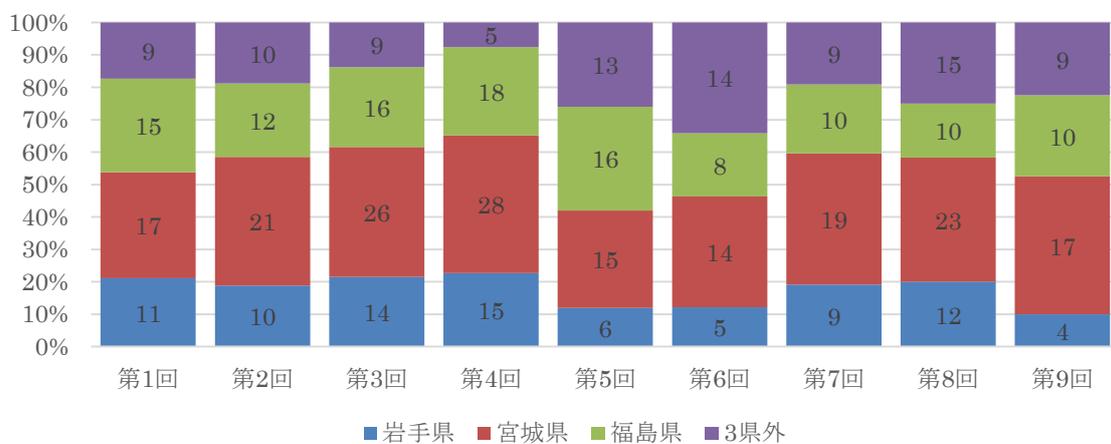
応募件数



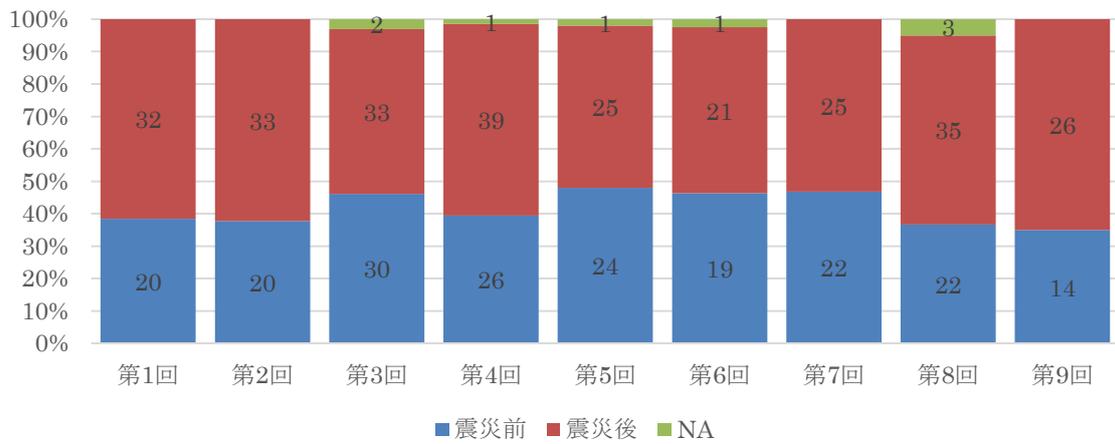
活動地域



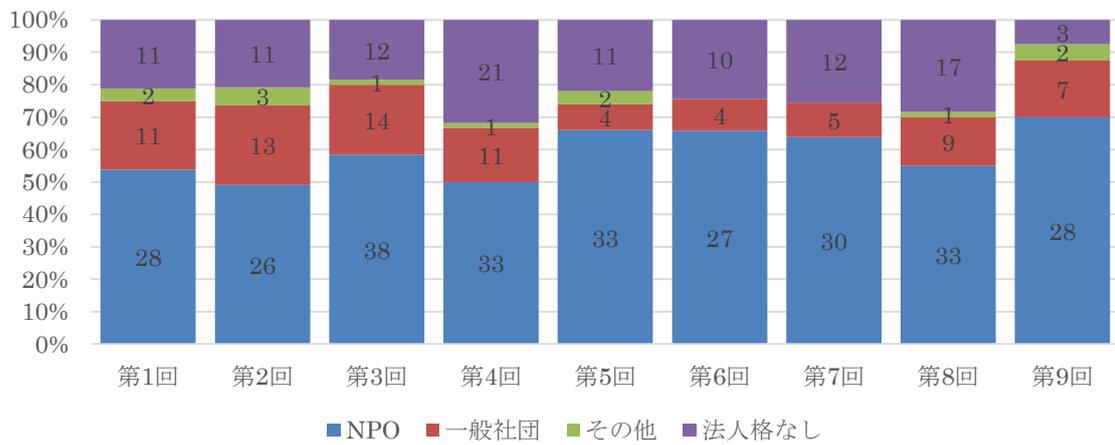
団体所在地



設立時期



法人格



5. 第1回から第9回までの助成対象事業一覧

助成件数 52 件（新規 38 件、継続 14 件）

助成額合計：2 億 1,313 万 4 千円（新規 1 億 4,853 万 4 千円、継続 3,967 万円）

◆岩手県 8 件（新規助成 8 件）（助成額合計 3,624 万円）

	事業名	団体名／代表者名	活動地域	助成額
第2回	水中清掃活動並びにその後の子供を対象としたスノーケル教室	特定非営利活動法人 ブルーサポートいわて 理事長 青木 亘	岩手県 大船渡市	312 万円
第2回	外部の若者との「交流」と「挑戦」から生まれる協働事業モデルの創出	特定非営利活動法人 SET 理事長・現地統括 三井 俊介	岩手県 陸前高田市	400 万円
第3回	東日本大震災文化芸術復興支援事業 希望の飛沫プロジェクト「岩手県三陸沿岸児童・生徒参加型創作ミュージカル公演」	特定非営利活動法人 劇団ゆう 理事長 菊田第一	岩手県 大船渡市 洋野町	500 万円
第4回	岩手に根ざした「和グルミ」を全国発信し地域の産業創出	一般社団法人 SAVE IWATE 理事長 寺井 良夫	岩手県 盛岡市 野田村	483 万円
第6回	福祉有償運送事業（障害者や要介護高齢者などの暮らしを支える生活支援）	特定非営利活動法人 愛ネット高田 代表理事 千葉 丑美	岩手県 陸前高田市	500 万円
第7回	入浴買い物バス運行による元気・絆復活	特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター 代表理事 廣田 純一	岩手県 田野畑村	444 万円
第8回	大槌町の若手世代対象：自分の町の魅力（再）発見事業	一般社団法人 おらが大槌夢広場 代表理事 白沢 和行	岩手県 大槌町	500 万円
第8回	被災地の人的資源と連携した自立的長期メンタルヘルス支援サービスの構築	認定特定非営利活動法人 心の架け橋いわて 理事長 鈴木 満	岩手県 大槌町	485 万円

◆宮城県 23件（新規助成16件、継続助成2件）（助成額合計9,231万4千円）

	事業名	団体名／代表者名	活動地域	助成額
第1回	津波被災地における女性視点でのくらしの課題解決の事業化支援	特定非営利活動法人 ウィメンズアイ 代表理事 石本 めぐみ	宮城県 登米市	498 万円
第1回	在宅住民・仮設住宅住民の孤立防止と災害公営住宅入居者のコミュニティ形成	特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター 代表理事 谷山 博史	宮城県 気仙沼市	349 万円
第1回	子育てと就労・コミュニティを包括した事業モデルの創出	特定非営利活動法人 ピースジャム 理事長 佐藤 賢	宮城県 気仙沼市	499.4 万円
第2回	地域住民への生活支援、地域コミュニティ形成の促進プロジェクト	特定非営利活動法人 生活支援プロジェクトK 代表理事 阿部 正孝	宮城県 気仙沼市	440 万円
第3回	南三陸自然史学舎（しぜんのまなびや）構想実現のための2プロジェクト推進	特定非営利活動法人 海の自然史研究所 代表理事 藤田 喜久	宮城県 本吉郡 南三陸町	350 万円
第3回	私営公民館の運営と地域コミュニティの活性化事業	雄勝まちづくり協会 理事長 及川 拓磨	宮城県 石巻市 雄勝町	360 万円
第3回	HANA 荘コミュニティ運営支援事業	特定非営利活動法人 石巻スポーツ振興サポートセンター 理事長 松村 善行	宮城県 石巻市	300 万円
第4回	ボランティア・ツアーの継続促進と、発信地との相互交流（観光と物流）拡大支援事業	一般社団法人 南三陸復興まちづくり機構 代表理事 山内 正文	宮城県 南三陸町	451 万円
第4回	被災地のものづくりコミュニティの継続的な運営と発展のための組手的販促支援強化事業	特定非営利活動法人 応援のしっぽ 代表理事 広部 知森	岩手県 宮城県 福島県	471 万円
第5回	街角・Café&軽食 桜さくら／フリースペースららぽーと	特定非営利活動法人 夢みの里 代表理事 菅原桂子	宮城県 石巻市	340 万円

第5回	被災による子どもの貧困救済及び貧困連鎖予防事業	特定非営利活動法人 キッズドア 理事長 渡辺由美子	宮城県 仙台市	456 万円
第5回 継続	津波被災地における女性視点でのくらしの課題解決の事業化支援第二期	特定非営利活動法人 ウィメンズアイ 代表理事 石本めぐみ	宮城県 南三陸町	390 万円
第5回 継続	仮設住宅住民の心身の健康維持と災害公営住宅のコミュニティ形成	特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター 代表理事 谷山博史	宮城県 気仙沼市	283 万円
第6回	仙台市若林区東部農村地域復興プロジェクト	一般社団法人 ReRoots 代表理事 広瀬 剛史	宮城県 仙台市	460 万円
第6回 継続	地域住民への生活支援、地域コミュニティ形成の促進プロジェクト	特定非営利活動法人 生活支援プロジェクトK 代表理事 阿部 正孝	宮城県 気仙沼市	400 万円
第7回	被災市民による地域コミュニティ維持・担い手育成並びに要援護住民支援の基盤づくりサポート事業	石巻仮設住宅自治連合推進会 会長 増田 敬	宮城県 石巻市	487 万円
第7回 継続	南三陸自然史学舎（しぜんしのまなびや）構想実現のための2プロジェクト推進	特定非営利活動法人 海の自然史研究所 代表理事 藤田 喜久	宮城県 南三陸町	370 万円
第7回 継続	私営公民館の運営と地域コミュニティの活性化事業	特定非営利活動法人 雄勝まちづくり協会 理事長 及川 拓磨	宮城県 石巻市	200 万円
第8回	長屋門で地域再生～古民家活用モデル構築～	くりはらツーリズムネットワーク 会長 小野寺 敬	宮城県 栗原市	470 万円
第9回	石巻市の地元住民による小中学校サポート活動を通じたコミュニティ形成事業	一般社団法人 プロジェクト結コンソーシアム 理事長 長尾 彰	宮城県 石巻市	490 万円

第9回	雄勝花物語 第5章「若者・お年寄り・女性の参加による故郷復興プロジェクト」	一般社団法人 雄勝花物語 代表理事 徳水 利枝	宮城県 石巻市	428 万円
第9回 継続	街角 Café 桜／フリースペースららポート	特定非営利活動法人 夢みの里 理事長 菅原 桂子	宮城県 石巻市	340 万円
第9回 継続	被災による子供の貧困救済及び貧困連鎖予防事業	特定非営利活動法人 キッズドア 理事長 渡辺 由美子	宮城県 仙台市	399 万円

◆福島県 21件（新規助成14件、継続助成7件）（助成額合計8,458万円）

	事業名	団体名／代表者名	活動地域	助成額
第1回	双葉町役場いわき事務所との連携による双葉町が抱える課題への支援事業	特定非営利活動法人 勿来まちづくりサポートセンター 理事長 舘 敬	福島県 いわき市	413 万円
第1回	障がい児の被災者家族の支援プロジェクト	特定非営利活動法人 ふよう土 2100 理事長 里見 喜生	福島県 いわき市	499 万円
第2回	次世代の若者による実践的地域社会課題解決プログラム	一般社団法人 Bridge for Fukushima 代表理事 伴場 賢一	福島県内	420 万円
第2回	ふくしま移住女性エンパワメントプロジェクト	福島移住女性支援ネットワーク 代表 佐藤 信行	福島県 福島市 白河市	350 万円
第3回	小高区が「新たな一歩」を踏み出すための、世代間まちづくりワークショップ・農業交流事業	特定非営利活動法人 はらまち交流サポートセンター 代表理事 門馬 浩二	福島県 南相馬市	450 万円
第3回	福島の幼児の「外遊びデビュー」サポート	特定非営利活動法人 こどもの森ネットワーク 理事長 橋口 直幸	福島県 福島市 郡山市 猪苗代町	400 万円
第3回	障がい者施設へのリサイクル機器貸与による障がい者就労機会創出・国内資源循環促進事業	特定非営利活動法人 くるりんこ 理事長 荒川 健吉	福島県 郡山市	400 万円
第4回	いいたてミュージアム-までの未来へ記憶と物語プロジェクト-	いいたてまでの会 共同代表・幹事長 佐藤 彌右衛門	福島県 飯舘村 福島市	339 万円
第4回	福島県の子どもたちに過疎地域を活かした安心保育環境を提供する事業	特定非営利活動法人 移動保育プロジェクト 理事長 上國料 竜太	福島県 郡山市	318 万円
第4回	福島県いわき市におけるコミュニティづくり応援事業	特定非営利活動法人 シャプラニール=市民による海外協力の会 代表理事 岩城 幸男	福島県 いわき市	462 万円

第5回	ふくしまの農業を現地で知り交流する「スタディファーム」の構築	特定非営利活動法人 がんばろう福島、農業者等の会 理事長 齊藤 昇	福島県 二本松市	470 万円
第5回 継続	障がい児の被災者家族の支援プロジェクト	特定非営利活動法人 ふよう土 2100 理事長 里見喜生	福島県 郡山市	385 万円
第6回	原発被災地域の仮設住民仮設及びみなし仮設)のための要支援者・要介護者急増対策事業	特定非営利活動法人 NPO ほうらい 理事長 小林 義明	福島県 福島市	482 万円
第6回 継続	次世代の若者による実践的地域社会課題解決プログラム	一般社団法人 Bridge for Fukushima 代表理事 伴場 賢一	福島県 全域	400 万円
第7回	食と農の再生・うつくしまプロジェクト～持続可能な地域資産循環型の福島復興へ～	特定非営利活動法人 福島県有機農業ネットワーク 理事長 菅野 正寿	福島県 全域	440 万円
第7回	帰村モデルとしての川内村地域再生事業	特定非営利活動法人 元気になろう福島 理事長 根本 二郎	福島県 川内村	392 万円
第7回 継続	小高区が「アクションを積み重ねていく」ための、世代間まちづくりワークショップと提案事業の協働実践	特定非営利活動法人 はらまち交流サポートセンター 代表理事 門馬 浩二	福島県 南相馬市	400 万円
第8回 継続	いいたてミュージアムーまでの未来へ記憶と物語プロジェクト-2015	いいたてまでの会 共同代表 佐藤 彌右衛門	福島県 飯舘村 福島市	398 万円
第8回 継続	福島県の子どもたちに過疎地域を活かした安心保育を提供する事業	特定非営利活動法人 移動保育プロジェクト 理事長 上國料 竜太	福島県 郡山市	323 万円
第8回 継続	福島県いわき市におけるコミュニティづくり応援事業	認定特定非営利活動法人 シャプラニール=市民による海外協力の会 代表理事 岩城 幸男	福島県 いわき市	317 万円

第9回 継続	ふくしまの農業を現地で知り交 流する「スタディファーム」	特定非営利活動法人 がんばろう福島、農業者等の会 理事長 齊藤 登	福島県 二本松市	400 万円
-----------	---------------------------------	---	-------------	-----------